


 覆面タクシー

第12回

業界の発展、生活向上のために —コラム連載1年を終えて ～元労組幹部S氏の呟き



昨年4月に「運賃改定や5・5遠距離割引の見直しなどについて、職場乗務員がどのような意見や考え方を持っているのか」というタイトルを皮切りに「乗務員の賃金制度」、「乗務員負担の現状」や社会問題になっている「低下する自転車マナー」、また「労働組合の組織問題」など、元労働組合役員として意見・考え方を述べさせていただいた。諸事情があり、「覆面タクシー」という事で実名を出さなかった事については、申し訳なく思っているが、一部、私をご存知の関係者の方からLINEやメール等で意見をいただいた事について、ありがたく思っている。併せて、このような機会を与えて下さった交通界の方々にもお礼を言いたい。いよいよ最後の連載となるが、この1年で変化のあった事を含めて改めて考え方を述べさせていただきたい。

まず、我々乗務員が一番気を付けなければならない交通事故、とりわけ自転車問題だ。全国でも特にマナーの悪い大阪だが、私はマナー改善には過去から罰則強化が不可欠と訴えてきた。ようやく自転車の交通違反者に対し、効果の薄い「赤切符」の交付以外に交通反則切符(青切符)の交付を可能にする制度が導入される。反則金制度の導入により自転車利用者においても法令・ルールを重視し、ルールを守らない事の危険性の認識が広がってくださると思う。警察関係者におかれては制度導入が絵に描いた餅にならないよう、「決められたルールは厳格に運用」を原則に取り締め強化をお願いしたい。また、自転車利用者に対して制度の啓発活動、周知徹底をお願いしたい。併せて自治体関係者には自転車専用レーンの整備など、安全に関する環境づくりも進めていただきたい。

次に5・5遠距離割引問題だ。大阪府内では2002年のタクシー規制緩和と同時にスタート。府内の90%の車両が導入したが、割り引きや価格競争などで営収が低下し、是正に向け議論されたが前に進まなかった。20年以上が経過した昨年5月、運賃改定と並行して、ようやく是正された。名前は出せないが、是正実現に向け、真剣に取

り組んでいただいた、ご尽力いただいた労働組合役員・事業者の方々には心からお礼を申し上げたい。当労組当地区の乗務員からも感謝の言葉を多数もらっている。

次に乗務員の賃金制度。乗務員不足？が深刻化する中、良い人材を獲得するには、良い労働条件が不可欠、もちろん賃金が一番だ。オール歩合給が中心の業界において、過去から賃金制度については侃侃諤諤議論してきたが、落ち着くところは出来高払い給から抜け出さないのが現状である。私は安定して働くには他産業並みの賃金水準、年功序列給、退職金制度などが不可欠と考えるが！(もちろん企業の存続が前提)今後も様々な議論が行われると思うが、職場から、とりわけ若年層の乗務員からは非合法の「リース制度」の合法化を要望する声が少ない事も考えていただきたい。

まだまだ言わせていただきたい事はあるが、紙面の関係上、最後に！

いろんな問題が起きた時、議論する時に発言者が非常に少ないと感じる。当労組・当地区の職場もそうだが、何に関しても無関心、また、言論統制とまでは言わないが、ここで言わなければならないのに言わない！知らないうちに物事が決まっていることが非常に多い。さまざまな問題に、なぜ無言でいられるのか、私は我慢できずに意見を述べるが、黙っておられる方の辛抱強さに驚きを感じる。あらゆる会議に参加したときには、もっと議論を闘わせるべきで、それが業界、また組織のためになる。儀礼的な会議、形式的な会議ではなく、節度を持った本音で徹底した議論をお願いしたい。仲良しクラブ的な組織では、発展、向上しない！また、事業者の方には「コンプライアンスの徹底、ガバナンスの強化を！」、労組役員の方々には、政策の是非はともかく、組合員のため「現状を改革(良く)するんだ」という信念と行動力を持って運動していただきたい。偉そうな事や勝手な事を言わせていただき申し訳なかったが、タクシー業界の発展、組合員身分保障・生活の向上のための運動・活動をお願いしたい。